



富士見小は開校50周年を迎えました ～これまでも、これからも心の故郷・富士見小～

ALL FUJIMI

飯能市立富士見小学校
R6年度 学校だより
第8号
文責：

満足は努力の中であって、結果にあるものではない。 ガンジー

各地から紅葉や初雪のたよりも聞かれるようになり、2学期もすでに折り返し地点です。子供たちは、縦わり遠足(1～3年生)や仲良し運動会(6年生)、宿泊学習(5年生)という大きな行事を無事に終えることができました。準備段階から熱心に取り組み、大きな成果や達成感を味わえたようで、成長した姿が見られます。【学校行事】は教育課程の中で欠かせないものであり、大きな影響力を持つと実感しています。今回はこの【学校行事】について考えてみたいと思います。



学校行事は子供たちにとって楽しいものというだけでなく、教育上も次のようなメリットがあります。

★メリットその1～人間関係の形成の仕方を学べる★

集団生活では、様々な考え方に触れたり、子供によって関心を持つことや好みが異なったり、時には意見が食い違うこともあります。子供たちは行事の諸活動を通して、相互に理解し認め合い、互いのよさを生かした人間関係を作り上げることを学びます。人間関係が良好になれば、一人一人の能力や個性、資質をさらに伸ばしやすくなります。

★メリットその2～集団や社会への参画につながる★

自分の属する学級や学校生活をよりよいものにするために、集団に積極的に参画し、多様な問題を自らの力で解決するスキルを身につけていくことが求められます。行事を行う過程では、自ずとその力も育っていきます。学級や学校内で培ったスキルは将来的に地域や社会に対する参画につながり、今後の社会を背負っていく原動力にもなります。

★メリットその3～自己評価を高められる★

誰しも得意なことと不得意なことがあって当然です。子供たちは、各行事において自分の持つよさを発揮することができます。勉強の好きな子供は授業参観で発表する、運動の得意な子供は運動会や新体力テストでその運動能力の高さを披露する、絵画や書写が得意な子供は芸術祭などで制作物をみんなに見てもらい、音楽の好きな子供は音楽祭や合唱祭などで活躍することができます。よさを発揮できる場を設けることで、能力を認め合い、それが子供の自己評価を高めることにも繋がっていくのです。

メリットの多い学校行事ですが、実施するには費用が生じたり、持ち物の準備からお弁当作りに至るまで、保護者の皆様にはたくさんのご協力をいただかなければ成立しないことも多々あります。今後も各行事の主旨をご理解いただき、「子供たちの健やかな成長」のためにお力添えをいただければ幸いです。何卒宜しくお願いいたします。



◆11月は【いじめ撲滅強調月間】です◆

「いじめ」を受けた子供は、心身に深刻な被害が生じることがあります。「いじめ」は重大な人権侵害であり、決して許されることではありません。学校・家庭・地域が連携したい、「いじめ」は絶対に許さない!という強い決意でいじめ防止に取り組むことが必要です。

●これはいじめです

- からかう、悪口、脅し文句を言う
- 遊ぶふりをしてぶつかる、たたく、蹴る
- 金品をたかる、隠す、壊す
- 嫌がること、危険を伴うことなどを要求する
- 仲間はずれ、無視をする
- インターネットやSNSで誹謗中傷をする

●みんなの力でいじめを防ぎましょう

- 子供たちへ…いじめを見かけたら先生や身近な大人に伝えます(見て見ぬふりもいじめです)
- 保護者の方へ…子供の小さなサインに注意して下さい(子供の話に耳を傾けてください)
- 地域の方へ…子供たちへの温かな声かけや見守りをお願いいたします(防犯上も有効です)

開校50周年記念事業進行中～ご協力に感謝しております

50周年記念実行委員会の皆様方を中心に、【富士見小学校開校50周年】を祝う行事が進行中です。また事業開催にあたり、多くの自治会・企業の皆様方よりご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。(協賛いただいた皆様のお名前は、会議室の校庭側窓辺に掲示してありますので、ぜひご覧ください。)故郷・富士見地区を愛し、その発展に寄与できる人材育成のため、今後も一生懸命に努めてまいります。皆様のご支援・ご協力が、明日の富士見小の活力源です!!



↑バルーン・フェスタの様子から